
神戸大学学術情報基盤センター
センターニュース抄録

The Kobe University Information Science and Technology Center News
No.4 ~ No.6

＝ 目 次 ＝

No.4 May, 2004

1. Mathematica の利用継続申請について
2. 認証メールシステムについて
3. .htaccess によるアクセス制限について
4. センターシステム利用者のホーム領域の拡大について
5. センター利用状況

No.5 December, 2004

1. 年末年始の開館予定
2. 迷惑メールと対策法
3. Sun Ray1サーバのアップグレード情報
4. VPN接続システムについて
5. 分館演習室の利用について
6. センター講習会報告：「高等教育における e-Learning：その成功の条件」
7. センター利用状況

No.6 February, 2005

1. 計算機システム利用継続申請について
2. レンタルサービス利用継続申請手続きについて
3. 対外公開サーバ利用継続申請について
4. 今春、退官・異動される皆様、卒業・大学院進学等で学籍番号が変更となる学生の皆様、非正規生で現存IDを取得されている皆様へ
5. センターシステム利用者のホーム領域の拡大について
6. MAGE の配布中止について
7. Mathematica の利用終了と Maple 利用開始のお知らせ

***** ファイルサーバの障害に関してのお詫び *****

5月の連休明けから度々発生していましたディスク障害に関して、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

5月18日の夜に行いました緊急復旧作業の影響により、/home2以下のファイルすべてが、先週の金曜日（5月14日）午後6時頃の状態にまで戻ってしまっています。

影響範囲は以下の通りです。

<学生IDユーザと授業用IDユーザすべて>

- ・ Zドライブ(マイドキュメント)に保存していたファイル
- ・ www2で公開しているホームページ
- ・ メール
- ・ 各種設定

なお、研究ユーザに関しましては影響はありません。

5月14日午後6時から昨日5月18日午後11時までの間に、上記について行った更新（送受信したメール等）につきましては、障害のため、保存することができませんでした。

誠に申し訳ございませんが、ご了承いただきますようお願いいたします。

1. Mathematica の利用継続申請について

数式処理システム Mathematica の平成16年度利用継続申請の受付を開始いたします。

各利用者の継続申請書は各々の支払責任者宛に一括して送付しております。

「Mathematica 利用継続申請書」に必要事項をご記入の上、平成16年5月31日（月）までに、
学術情報基盤センター本館事務室までご提出ください。

利用料金について

平成16年4月1日よりご利用のクラスにかかわらず統一料金となりました。

平成16年度 Mathematica 利用料金 ・ ・ ・ ・ 20,000円 / 台

2. 認証メールシステムについて

自宅で加入しているプロバイダなど、神戸大学以外からセンターのアカウントでメールを送信することが可能になりました。

認証メールサーバを利用するには、以下の情報をメールソフトに設定する必要があります。

SMTP サーバ名	smtpauth.kobe-u.ac.jp
メール送信時の認証方法	SMTP AUTH を利用する
メールアカウント	メールの@マークより前の部分
認証パスワード	センターシステムのログインパスワード

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/service/service2/003email/smtpauth/smtpauth.html>

3. .htaccess によるアクセス制限について

www2.kobe-u.ac.jp でホームページを公開する場合、.htaccess によるアクセス制限ができるようになりました。

但し、学生IDユーザは許可されていません。研究IDユーザと授業用IDユーザに限られます。
詳しい設定方法は、学術情報基盤センターまでお問い合わせください。

4. センターシステム利用者のホーム領域の拡大について

センターシステム利用者のホーム領域を近日中に拡大する予定です。（日程等は未定です。）

研究ユーザ	現行	1GB	10GB
学生ユーザ	現行	100MB	1GB

5. センター利用状況

メールサーバー利用統計

mailgate（研究用）（<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/Kouhou/cn/no4/mailgate.html>）

James（学生用）（<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/Kouhou/cn/no4/James.html>）

1. 年末年始の開館予定

冬季休業期間のセンターおよび、各分室の開館予定は次の通りです。

なお、期間中はIDの再発行は行いませんのでご了承下さい。

<2004/12/22更新>

学術情報基盤センター本館・分館・各分室における年末年始の予定

	学術情報基盤センター			大教センター		六甲台		発達科学部	工学部
	本館	分館	深江分室	K503	D618	情報処理教室	電算機室	情報処理教育室	学生ラウンジ
H16.12.22(水)									
23(木)									
24(金)									
25(土)									
26(日)									
27(月)		臨時閉館				9:00~17:00			
28(火)									
29(水)									
 H17.1.3(月)									
4(火)									
5(水)		9:00~17:00				9:00~17:00			
6(木)		9:00~17:00		閉館		9:00~17:00			
7(金)		9:00~17:00							



閉室

* 表示がない日は通常どおり

発達科学部：急な変更があった場合、<http://www.rie.h.kobe-u.ac.jp> と、発達科学部情報教育設備室入り口に掲示します。

大教センター K503教室：1月6日は工事のため閉館いたします。変更は教室前の掲示板に掲示します。

学術情報基盤センター本館・分館：12月27日は臨時閉館いたします。

2. 迷惑メールと対策法

迷惑メール (SPAMメール)

最近、いわゆる迷惑メール(SPAMメール)の数が急速に増大しており、多いユーザの方では一日数百通の迷惑メールが届き、非常に迷惑されていることと思います。学術情報基盤センターでも何とか対策を導入したいと考えてはおりますが、以下の点から現状での対策は難しいという実状です。

- ・機械的かつ統一的に迷惑メールを拒否する設定は困難です。
- ・ユーザ毎での設定をメールサーバ側で行うことも困難です。

したがって、現状では、クライアント側(ユーザの利用されているPC側)で迷惑メールをフィルターするソフトウェアを導入していただきますようお願いいたします。いくつかのメールソフトウェアや多くのアンチウィルスソフトウェアで、迷惑メールをフィルターする機能が備わっております。下記の学術情報基盤センターの「迷惑メールと対策法」のWebページで紹介しておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。

<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/temp/meiwaku.html>

なお、平成17年度末に導入の次期システムでは、迷惑メール対策を導入するよう計画しておりますので、なにとぞ御理解いただきますようお願いいたします。

フィッシング (Phishing) 詐欺関連のメール

phishing とは、実在する企業や金融機関などの Web サイトを装った「罠のサイト」へユーザーを誘導し、暗証番号やクレジットカード番号などを入力させ、それを入手してしまうという詐欺行為のことです。

対応策

- ・送信者欄 (差出人、From) を信用しない。(多くの場合送信者を詐称しています)
- ・メールの中に書かれているリンクを安易にクリックしない。
- ・フォームの送受信に SSL が利用されているか確認する。
- ・メールに示された連絡方法(リンクなど)以外の正規のものと確認できている電話番号や URL などから案内が本物かどうかを確認する。

架空請求メール

利用した覚えのない情報料の請求にご注意ください。

「インターネット・コンテンツ利用料(情報料)と称して、利用した覚えのない高額な金額の請求がメールで送られてきたが、支払う必要があるのですか」といった相談が、学術情報基盤センターに寄せられています。最近、悪質な業者が、不特定多数の人に架空の情報料を請求をする事例が増加しています。

対応策

- ・利用していないのであれば、支払う必要はない。
- ・不用意にメールを返信しない。

関連サイト

* 総務省の Web ページ http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030402_1.html

いずれの場合も、悪質な場合は、センターまでご連絡ください。

3 . Sun Ray1サーバのアップグレード情報

Sun Ray1サーバ (本館・分館) の OS を、Solaris 8から Solaris 9へアップグレードしました。

GNOME2.0へのバージョンアップに伴い、GNOME から Windows2000を利用することができるようになりましたので、GNOME2.0のご利用をお勧めします。

詳しい使用方法につきましては (<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/service/service2/001ray1/>) をご覧下さい。

< 関連情報 >

学術情報基盤センター本館および分館の Sun Ray1端末で Mathematica(バージョン 5.0) が利用できるようになりました。

端末ウィンドウを開いて % Mathematica [Return キー] のように入力すると Mathematica のウィンドウが開きます。ただし、Mathematica のライセンスが2005年3月末までで、それ以降は利用できなくなります点を御了承ください。

Star Suite7.0が、学術情報基盤センター本館・分館の端末室で使用できるようになりました。以下の利用手順に従って、是非ご利用ください。

<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/temp/star-manual.html>

4 . V P N接続システムについて

学術情報基盤センターでは、V P Nを用いた学内情報コンセントサービスと、ダイアルアップに代わる学外 V P N接続サービスを行っています。

これらのサービスを利用するには、以下の条件や制限があります。

- ・個人認証が必要ですので、センターのアカウント、または職員番号のアカウントを所有していることが必須となります。
- ・いずれのサービスを利用するにも、クライアントソフトウェアの導入が必要です。
- ・クライアントソフトウェアは両サービスで共通に利用できます。
- ・これらのサービスでは、http, https, ftp, ssh のみサポートしています。
- ・プロキシサーバの設定をすることにより学外の Web サイトを参照することが可能です。

V P N接続システム

外部プロバイダ等からこのサービスを利用することで、学内で利用しているのと同様なネットワーク環境を実現することができます。ダイアルアップ接続とは違い、何らかの形でインターネット接続ができていないことが前提ですが、プロバイダなどで特殊な制限を掛けられていない限り、世界中から利用することが可能です。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/service/service/013VPN/>

利用手順

1. クライアントソフトを立ち上げる
2. VPN 接続システムに接続する
3. ユーザ認証を求められるので、アカウント名とパスワードを入力する
4. 認証に成功すれば、学内で通用する IP アドレスが発行され、利用可能となる

注意点

VPN 接続を行っている間は、プロバイダ専用サービスが一時的に利用できなくなります。

これは正しい動作で、VPN 接続を終了すれば再び利用できるようになります。

また、proxy の設定をすることで、学外 Web サイトの閲覧は可能です。

proxy の設定については (<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/service/service/012authproxy/>) をご参照ください。

情報コンセントシステム

今回導入した情報コンセントは、DHCP システムに加え、VPN 装置と Radius によるユーザ認証を利用することにより、ユーザ認証を経た利用者のみがネットワークの利用が可能になるという仕組みを導入しています。

各所に配置された情報コンセント終端装置に接続された HUB や無線 LAN を用いて、お手持ちのノートパソコン等でネットワークを利用することができます。

設置場所など、詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/service/service/010vpn/>

利用手順

1. パソコンを情報コンセントに接続する
2. 認証のための仮の IP アドレスが設定される
3. クライアントソフトを立ち上げる
4. 情報コンセントシステムに接続する
5. ユーザ認証を求められるので、アカウント名とパスワードを入力する
6. 認証に成功すれば、正式な IP アドレスが発行され、利用可能となる

VPN クライアントソフトの入手法

学内では、認証付き情報コンセントシステムからダウンロードする事ができます。

学外からは下記の URL からダウンロードしてください。

<http://www.istc.kobe-u.ac.jp:10000/vpn/>

「<http://www.istc.kobe-u.ac.jp:10000/vpn/>」は学内専用ページです。通常学外からは見えませんので、表示するには認証プロキシシステムを設定してください。

現在マニュアルが用意されている OS は、Windows98/Me/2000/NT/XP のみになります。

Linux、Mac に関してはただいま準備中です。ご了承ください。

旧バージョンのソフトがインストールされている方は、最初に旧バージョンをアンインストールして下さい。

情報コンセントを利用するときの注意点

ウイルスに感染したパソコンが繋がれている傾向が目立ってきていますのでご注意ください。

特に Windows は、Windows アップデートとウイルスソフトをインストールした状態で使用されることを推奨いたします。

Windows アップデートするときの注意点

学内ネットワークは完全に安全とはいえません。

- ・学外からの攻撃は Firewall で防いでいますが、ウイルスに感染した持ち込みパソコンなどから、学内ネットワークにウイルスが流布していることがあります。
- ・WindowsXP にサービスパック 2 を適応する場合は、事前に必ずパソコン購入メーカーの情報を確認してください。

* 場合によると起動しなくなることが報告されています。

サービスパック 2 を当てても安全ではありませんので、ウイルスソフトなどのインストールをお勧めします。

安全な環境でアップデートできるところ

学術情報基盤センター本館 2 階の端末室に準備中です。

2005年 1 月よりご利用いただける見込みです。

5. 分館演習室の利用について

当センターHPの「平成16年度後期情報処理教室利用状況」(<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/AnnounceFromISTC/contents/temp/jikanwari.htm>)のとおり、演習室の利用に余裕がございます。つきましては、平成16年度のご利用に限り、一時利用と同様、ご負担のないように配慮させて頂きますので、ご利用の申し込みをお待ちいたしております。一時利用につきましても、随時申請を受け付けておりますので、ご利用の程よろしく申し上げます。また、ご利用の時間帯が重なることも想定されますので、メール又は電話にてセンターシステム係にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。(E-mail: ipcenter@kobe-u.ac.jp / 内線: 5373)

6. センター講習会報告: 「高等教育における e-Learning: その成功の条件」

学術情報基盤センターでは教育支援基盤研究部門が主体となり、11月17日～18日に独立行政法人メディア教育開発センター(千葉県千葉市)で開催された、国際シンポジウム「高等教育における e-Learning: その成功の条件」を、深江キャンパスと六甲台キャンパスに中継する講習会を開催しました。

このシンポジウムは、国内外の e-Learning の事例を元に、高等教育における e-Learning の成功の条件は何かを討議することを目的として開催されたものです。独立行政法人メディア教育開発センターは、スペース・コラボレーション・システム(SCS)を用いて希望する大学に中継をしました。

学術情報基盤センターは、SCS だけでなく、インターネットを利用して学内に広くこれを配信する形で講習会を実施しました。深江キャンパスにある SCS 設備でこの中継を受信した後、海事科学部の協力を得て、Real Video 形式と Windows Media 形式でストリーミング映像を学内に配信しました。これにより、学内の一般的な PC を利用して視聴可能にしました。

また、学術情報基盤センター分館(六甲台キャンパス)では、別に DVTS (Digital Video Transport System) を用いて、高画質の映像を受信して視聴できる特設会場を設けました。

当日は、六甲台・深江の両会場には学外の方を含め合計4名、ストリーミング配信で延べ44の方が参加されました。会場は人数が少なかったものの、全員の方が2日間全般にわたって出席され、熱心に受講されました。

学術情報基盤センターでは、将来の e-Learning・遠隔講義などに向けて、今後も主に大学教職員、学生を対象としてこうした講演会の企画を行っていく予定です。何かご要望がありましたら、センター宛にご遠慮なくご連絡ください。

7. センター利用状況

メールサーバー利用統計

mailgate (研究用) (<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/Kouhou/cn/no5/mailgate.html>)

J a m e s (学生用) (<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/Kouhou/cn/no5/James.html>)

1. 計算機システム利用継続申請について

来年度（平成17年度）、計算機利用のための継続手続きを2月7日（月）より受付中です。

「計算機システム利用継続申請書」は、各支払責任者様宛に学内便でお送りしております。内容をご確認のうえ、継続手続きを行ってください。

申請書は、学術情報基盤センター本館2階事務室まで持参、または学内便（宛先：学術情報基盤センター、朱筆で「継続申請書在中」と書いて下さい。）にて送付して下さい。FAX、メールおよび電話では、受付致しませんのでご注意ください。

継続申請受付締め切り 2月28日（月）【センター必着】

【留意点】

継続申請の手続き等詳細は、センターのホームページ(学内専用)をご参照下さい。継続手続きが行われなかった場合、自動的に「利用終了」となりますのでご注意ください。

平成18年1月より新システムの導入を予定しております。それに伴い、サービス内容に変更が生じる可能性があります。それに関する情報は当センターのホームページに随時公開する予定ですので、各自ご確認のほどよろしく願いいたします。

お問い合わせは、学術情報基盤センター本館事務室までお願いいたします。

(TEL: 078-803-5370 E-mail: ipcenter@kobe-u.ac.jp)

2. レンタルサービス利用継続申請手続きについて

来年度（平成17年度）、レンタルサービス利用のための継続手続きを2月7日（月）より受付中です。「レンタルサービス利用継続申請書」は、各サービスの申請者様宛に学内便でお送りしております。内容をご確認のうえ、継続手続きを行ってください。

申請書は、お送りした封筒に入れて、学術情報基盤センター本館2階事務室まで持参、または学内便にて送付して下さい。FAX、メール及び電話では、受付致しませんのでご注意ください。

継続申請受付締め切り 2月28日（月）【センター必着】

【留意点】

継続手続きが行われなかった場合、自動的に「利用終了」となりますのでご注意ください。

平成18年1月より新システムの導入を予定しております。それに伴い、サービス内容に変更が生じる可能性があります。それに関する情報は当センターのホームページに随時公開する予定ですので、各自ご確認のほどよろしく願いいたします。

お問い合わせは、学術情報基盤センター本館事務室までお願いいたします。

(TEL: 078-803-5370 E-mail: ipcenter@kobe-u.ac.jp)

3. 対外公開サーバ利用継続申請について

現在、設置されている対外公開サーバにつきましては、対外公開サーバ設置基準第5条第3項により、平成17年3月31日に公開許可期間が満了になります。つきましては、平成17年4月1日以降も引き続き対外公開サーバの設置を希望される方は、2月28日（月）までに下記メールアドレスに対外公開サーバ設置基準別紙様式2及び別紙様式5により継続申請書を提出してください。

なお、年度末ということで、日常運用管理等を行う方の交代が予想される等の理由で、2月28日（月）までに提出できない場合は、5月16日（月）までに提出願います。（それまでの間は、対外公開サーバを設置し、サービスを継続されても結構です。）

また、対外公開サーバ設置基準については、1月25日開催の情報セキュリティ委員会において改正の結果、様式等が大幅に変更になりました関係で、このたび、下記のとおり対外公開サーバ設置に係る案内専用のWebサイトを設けましたので様式及び記入例を同サイトより入手のうえ申請願います。おって、結果通知については、申請の日から概ね2週間以内に別紙様式2における「3. システム管理者の所属・氏名・連絡先」において記入していただいたメールアドレスに通知いたします。

継続申請書提出先メールアドレス：server-shinsei@istc.kobe-u.ac.jp

（提出先メールアドレスが変更になっていますので、お間違えのないようにして下さい。）

対外公開サーバ設置関係サイト（学内専用ページです）

http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/network/security/002server_shisei/

お問い合わせは、学術情報基盤センター本館事務室までお願いいたします。

(TEL: 078-803-5370 E-mail: server-shinsei@istc.kobe-u.ac.jp)

4. 今春、退官・異動される皆様、卒業・大学院進学等で学籍番号が変更となる学生の皆様、非正規生で現存IDを取得されている皆様へ
上記の皆様のIDは3月末で無効となります。
非正規生で、現在のIDを4月以降も引き続き使用される方は、所属学部 of 教務係に再度申請してください。

homeにある必要なファイルは各自別途保存し、不要なファイルは削除しておいてください。

センターでは、homeにファイル等が残っていてもバックアップを行いません。

予めご承知おきください。

期間終了後は、学術情報基盤センターで該当者のIDを削除いたします。

IDが削除されると

- ・メールアドレスが利用できなくなります
- ・homeにあるファイルやホームページも削除されます

転送設定について

メールの継続性を考慮して、.forwardによるメールの転送設定は1ヶ月程度の猶予期間を設けています。設定方法は、センターホームページの「メールを転送する方法」を参照のうえ、3月中に各自で設定を行ってください。

<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/service/service/006Mailforward/>

研究IDの新規登録について

来年度(平成17年4月以降)利用開始予定の研究IDの申請依頼は順次受付し、3月下旬に配布させていただく予定です。

ただし、3月下旬～4月上旬にお申し込みいただいた新規申請につきましては、新入生ID登録作業のため、発行が遅れる可能性がございますこと、予めご了承下さい。

5. センターシステム利用者のホーム領域の拡大について

2004年12月末に、センターシステム利用者のホーム領域を拡大しました。

研究ユーザ	現行	1GB	10GB
-------	----	-----	------

学生ユーザ	現行	100MB	1GB
-------	----	-------	-----

6. MAGEの配布中止について

昨年まで、ご希望の方に配布しておりましたセンター広報誌「MAGE」ですが、このたび経費削減等の理由により、学内向け配布を中止することとなりました。申し訳ございませんが、どうぞご理解くださいますようお願いいたします。

なお、従来通り、センターホームページには掲載いたしますので、今後はそちらをご覧くださいませう、よろしく願いいたします。

<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/Kouhou/>

7. Mathematica 利用終了と Maple 利用開始のお知らせ

サイトライセンスにより、運用しておりました Mathematica は、現状の利用者数と契約料金を比較して、これ以上維持するのが困難と判断し、今年度をもってサイトライセンス契約を終了することを決定いたしました。

代替ソフトウェアとして、2005年4月より Maple のサイトライセンス契約を結ぶ予定にしております。六甲台地区において、神戸大学の構成員が神戸大学所有の計算機上で利用することが可能となります。

<http://www.maplesoft.com/>

<http://www.cybernet.co.jp/maple/>

【Maple 紹介】

- ・ Maple は Mathematica と同様の機能を持った数式処理ソフトウェアです。
- ・ Windows, Macintosh, Linux 等で利用可能です。
- ・ Mathematica Translator により、Mathematica の基本関数の自動変換を行うことが可能です。
- ・ 学術情報基盤センターの Unix 端末でも利用可能となる予定です。
- ・ 平成17年度中に講習会の実施を予定しております。

ソフトウェアのご利用料金等につきましては、学術情報基盤センターのホームページ等で御連絡させていただきますので、皆様におかれましては、サイトライセンス維持のためにも、是非とも積極的に御利用いただきますようよろしくお願いいたします。なお、利用料金の設定につきましては、個人ユーザ（利用料金は Mathematica の時と同程度の予定）と研究室ユーザの2つのご利用区分を予定しております。